



令和2年8月28日

信濃町長 横川正知 様

信濃町立病院再整備基本計画策定委員会

委員長 松村



提 言 書

信濃町立病院再整備基本計画策定委員会において、信越病院再整備事業の概要について説明を受け、内容を確認してきました。基本理念である「地域の健康と暮らしを支え、身近で信頼され愛される病院」を実現するために、住民、患者との対話を重視し、この概要を基に今後策定される基本計画やその他信越病院等の整備を進めていくうえで、下記のとおり意見を取りまとめたので提言します。

記

- 建物施設については、患者の動線を分けるなど感染対策を行うとともに、内装等についても患者へ安心感を与え、また、駐車場等の病院敷地については、利用者及び周辺住民の利便性と積雪対策を十分に考慮した設計とすること。
- 職員の労働環境については、基本方針のひとつである「笑顔あふれる働きやすい環境づくり」を目指すため、職員が協力しあいながら計画を進めること。
- 介護療養病床廃止後の受け皿については、町と関係機関が連携・調整を行い、地域包括ケアシステムを活用して対応すること。また、病院もその一員として、在宅療養支援に積極的に取り組むこと。
- 工事期間中を含め周辺住民への影響を考慮し、病院の移転に伴う周辺の道路改修や冬期間の事故防止等、安心・安全な交通環境の整備を図ること。
- 病院の再整備にあたっては、将来の町民への負担が大きくなるよう、十分に精査を行い、計画の策定及び事業の執行をすること。また、町民には、丁寧な説明を行っていくこと。
- 診療科については、6診療科とされているが、非常勤医師による診療機能の確保を検討するなど、患者ニーズにあわせた診療科の整備を図ること。

尚、別紙にて上記、提言内容の基となる意見を記載する。

(別紙) 信濃町立病院再整備基本計画策定委員会における意見のまとめ

- ・古い建物で感染症への対応が困難な状況であるため、新病院では十分な感染症対応ができるようにすること。
- ・病院建物の一部に病児、病後児保育施設を併設するなど、複合施設とすることの利点を検討すること。
- ・リラックス効果等が見込める無垢の木を使用した内装とすること。
- ・雪国用建築、通院手段は車のため利用しやすいように駐車場、乗降場所と待合室の確保をすること。

- ・職員が生き生きと働ける病院、環境づくりをすること。
- ・職員が働きやすい環境については、病院職員の意見を反映すること。
- ・若い看護師が働きたくなる環境を追求すること。

- ・地域包括ケアシステムの構築にあたり、介護事業と病院との連携は不可欠であるため、関係機関との円滑な連携が取れる具体策を明示すること。
- ・制度上廃止される介護療養病床の受け皿について、町が主体となって具体策を明示すること。
- ・将来自分が死ぬことを考えた時、自宅で最期を迎えたいが、家族に迷惑をかけるために、終末期の患者を支える病院であること。
- ・病院で看取りの対応をすること。
- ・患者が住み慣れた自宅で安心して暮らせるように在宅療養支援病院としてさらに充実した取り組みをすること。

- ・旧柏原小学校跡地周辺の道路（特に一茶記念館前）は坂となっている所が多く、冬期間にお年寄りが転倒しているため防止策をとること。
- ・近くの民家、記念館、県道、通学路があるため、解体や建築工事による影響（騒音、車輛の出入）への対策をとること。
- ・旧柏原小学校跡地は駐車場にアクセスする時の高低差が大きく、冬場のスリップ事故等の心配があり、また、周辺道路が狭く複雑な交差点が多いため侵入道路と退出道路を分ける、ロータリー化する等なるべく傾斜面のないアクセスとなる工夫をすること。
- ・信濃町にいる設計士や大工の知識、経験を借り無駄のない病院建物とすること。

- ・今の信越病院で使用されている医療機器等の物品については、可能な限り新病院でも使用し、廃棄物品を少なくすること。

- ・積算の漏れ落ちで新病院完成後、追加の工事や購入が発生しない計画とすること。
 - ・将来的な町財政の心配から、基金・起債・国県補助金等、建設費などの事業費や計画を都度、町民に丁寧な説明を行うこと。
-
- ・町内の女性が町で安心して暮らせるように、婦人科など女性を中心に診る医師を呼ぶこと。
 - ・幅広い分野で女性に対応できる女性の医師を招聘すること。
 - ・若い世代は、専門的な病院に行きたい人が多いため、若い世代にも利用してもらうことを図った診療科を整備すること。